

雲北陵月報

No. 410

令和元年10月31日
出雲北陵中学高等学校
土江明文社 印刷

吹奏楽部 全日本マーチングコンテスト全国大会出場決定!! 全日本吹奏楽コンクール全国大会銅賞!!

第32回全日本マーチングコンテスト中国大会

時 10月6日
於 広島サンプラザホール

第67回全日本吹奏楽コンクール全国大会

時 10月20日
於 名古屋国際会議場

本校としては5年連続13度目となる全国大会であったが、部員たちは本年度のテーマである「精進」を胸に、日々地道な練習を積み重ねて大会に臨んだ。

今年も昨年に引き続き、作曲家である樽屋雅徳氏に依頼し、本校オリジナルの作品を作っていた。練習は苦勞の連続であったが、生徒たちは厳しい練習を乗り越えて本番で立派な演奏・演技を披露し、会場を魅了した。結果、金賞を受賞し、目標としていた6年連続8度目となる全国大会への出場権を得た。



全国大会出場を決めた吹奏楽部

これまで支えていただいた保護者の皆様、卒業生の皆様をはじめ、応援していただいた地域の皆様への感謝を忘れず、11月に行われる全国大会では、中国支部の代表として誇りを持って大会に臨めるよう、引き続き精進していきたい。

(顧問 竹内康貴)

第74回国民体育大会

なぎなた部

時 9月29日～10月1日
於 西部総合公園体育館(茨城)

少年女子試合競技の部 ベスト16
成年女子演技・試合競技の部 準優勝!

◎少年女子

〈演技競技の部〉

1回戦 島根県 1-4 福岡県

〈試合競技の部〉

1回戦 島根県 3-10 愛知県

2回戦 島根県 1-2 岡山県

〈出場選手〉

先鋒 玉木 羅夢(23平)

中堅 日野 愛理(32北)

大将 森本あか音(25北)

◎成年女子

〈演技競技の部〉

決勝戦 島根県 1-4 茨城県

〈試合競技の部〉

決勝戦 島根県 1-2 熊本県

◎大会総評

少年女子は演技・試合とも入賞を逃した。成年女子は、井上教諭を含む3名の卒業生で挑み、演技・試合ともに準優勝を果たした。今各大会で頂点を目指し頑張っていた。応援有難うございました。

(顧問 井上美代)



男子バスケットボール部

時 10月4～8日
於 池の川さくらアリーナ(茨城)

14年ぶりのベスト8(5位)

◎大会総評

予選リーグでインターハイ5位の高知県に敗れ、上位進出はならなかった。出場した選手はインターハイの時よりも積極的にプレーし、劣勢ながらも最後まで諦めず、粘り強く戦った。国体はインターハイとは違い、個々の実力の差が出やすい試合方式のため、入賞するには絶対的なエースを育成する必要があると感じた。常時全国大会で入賞できるように、今後の練習でフィジカルを鍛えようと、技術や戦術の幅を広げていきたい。

(顧問 古瀬泰之)

ソフトテニス部

時 10月1・2日
於 磯原地区公園テニスコート(茨城)

日野坪雄大(33北) ベスト16

1回戦 島根県 ②-1 鹿児島県

2回戦 島根県 1-② 香川県

日野坪雄大が島根県の選抜メンバーとして参加した。初戦の鹿児島県戦では、1勝1敗の3番勝負を見事勝ちきり、2回戦進出を決めた。2回戦は香川県との対戦であったが、インターハイの個人優勝ベアに対して果敢に攻め、価値ある1勝をあげた。高校生として参加する最後の大会で素晴らしい試合をすることができた。支えていただいた多くの方々への感謝を忘れず、今後につなげてくれることを期待している。

(顧問 佐々木雄志)

卓球部

時 9月28日～10月2日
於 池の川さくらアリーナ(茨城)

◎大会総評

予選リーグでインターハイ5位の高知県に敗れ、上位進出はならなかった。出場した選手はインターハイの時よりも積極的にプレーし、劣勢ながらも最後まで諦めず、粘り強く戦った。国体はインターハイとは違い、個々の実力の差が出やすい試合方式のため、入賞するには絶対的なエースを育成する必要があると感じた。常時全国大会で入賞できるように、今後の練習でフィジカルを鍛えようと、技術や戦術の幅を広げていきたい。

(顧問 古瀬泰之)

卓球部

令和元年度全日本卓球選手権大会島根県予選大会
 於 時 10月19・20日
 カミアリーナ

〈男子シングルス〉
 2位 原田哲多(14北)
 4位 山本 歩
 〈男子ダブルス〉
 優勝 山本駿介・井上友希 組
 2位 三村悠斗(24北)・杉浦大和(中3長瀬)
 3位 山本 歩・原田哲多 組
 ○大会総評



男子ダブルス優勝の山本駿介(右)・井上友希組

野球部

令和元年度出雲地区高校野球1年生大会
 於 時 10月13日
 出雲商業高等学校グラウンド
 1回戦 本校 100130 5
 出雲 21401x 8
 ※大会規定による時間制限により6回で終了
 ○大会総評

初回に先制したが、守備で流れを掴むことができず、惜敗した。一冬越えて、更なるパワーアップを目指したい。ご声援有難うございました。

(顧問 陶山浩史)

テニス部

U18チャレンジテニス大会
 於 時 10月5日
 浜山公園

〈男子シングルス〉 3回戦敗退
 〈女子シングルス〉 3回戦敗退
 ○大会総評
 男女とも実力不足で敗退した。基礎基本からしっかりと鍛錬することを課題とし、精進していきたい。(顧問 石川剛巨)

陸上競技部

第93回大東陸上競技大会
 於 時 9月29日
 大東ふれあい運動場

男子リレー・女子走幅跳で優勝

〔男子〕
 4×100m R 優勝
 永岡歩望(14北)・小片祐希(11平)
 走幅跳 渡部優哉(22平)・松本優大(22平)
 6位 渡部優哉
 7位 小片祐希
 5位 永岡歩望
 6位 柳谷怜映(13瀬)
 走幅跳 優勝
 永岡歩望(13河)

○大会総評
 2年ぶりに出場した今大会では、9月の県高校新人戦につぐ好記録をマークし、夏季練習の成果を実感することができた。しかし、課題もたくさんあるため、これからの冬季練習を今まで以上に頑張っていきたい。(顧問 別所美喜子)

美術部

緑化ポスター原画コンクール 優良賞受賞!



令和元年度島根県緑化ポスター原画コンクールに本校から応募したところ、山崎あかり(16瀬)の作品が全185点の中から高等学校の部で優良賞に選ばれた。(顧問 石倉 正)

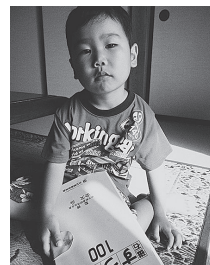
写真部

令和元年度秋季写真コンクール
 於 時 10月18日
 大社高校

特選7点、入選14点受賞!!

本校から13人が65点を出品したところ、7点が特選、14点が入選を受賞した。特選作品は次の通り。

「さくら」 小川なるな (11平)
 「18の夏」 藤原香織 (13北)
 「あの日」 桐野莉菜 (14北)
 「眼光」 藤江 誉 (14北)
 「チャイムの音」 山根七海 (21平)
 「深世界」 荒木孝太 (13北)
 角田翔太 (21北)
 (顧問 村上 学)



「さくら」小川なるな

第2回オープンキャンパス及び授業体験・部活動体験実施

9月28日に本年度第2回オープンキャンパスを開催した。中学校では、実力診断テストにチャレンジする企画や楽しい授業を、また高校では、受験講座や美術・CGデザインコースの体験、吹奏楽部との合同演奏、部活動体験などを行なった。当日は小中学生や保護者の方々と250名余りの来校者があり、賑やかな一日となった。



参加いただいた皆様には、本校の特色を理解いただけたのではないかと思います。

特別進学コース体験入学

10月16日に特別進学コースの体験入学を実施し、7校から30名の中学生に参加いただいた。



まず初めにコースについての説明を行った後、在校生との交流の場を設けたが、参加者は本校の様子について在校生から直接話を聞くことで、特別進学コースでの高校生活を具体的にイメージすることができた。

出雲北陵中学・高等学校芸術鑑賞会並びに第29回定期演奏会

於 時 10月1日
 出雲市民会館

本年度で29回目を迎えたこの演奏会は、ソロ・弦楽合奏・吹奏楽・合唱と様々な演奏スタイルの演目が並び、他校にはない本校ならではの演奏会である。

昼は本校生徒対象の芸術鑑賞会、夜は一般対象の定期演奏会と2公演を行っている。演奏者にとっては強行日程であるが、生徒たちは山陰で唯一の音楽コースの独唱・独奏をはじめ、島根県・中国地区を代表する音楽部の演奏を披露し、観客を魅了した。

当日来館いただいたお客様をはじめ、日頃より応援いただいている地域の方々、また陰で支援いただいている保護者の皆様に感謝申し上げます。

インターアクトクラブ活動

高瀬川クリーン作戦

時 10月6日
於 出雲市内高瀬川流域



出雲南ロータリークラブが主催する「高瀬川クリーン作戦」が今年も実施され、本校からインターアクトクラブの生徒13名が参加した。

上流で川の水を止め、足首程度まで水位が下がったところで川底清掃を行なった。空きビン・空き缶・乾電池などの小さなゴミから、壊れた傘、衣類といった大きなゴミまで、2、3キロのゴミが袋いっぱい集まった。

毎年恒例の活動ということもあり、ゴミの量は徐々にではあるが少なくなってきた。

2時間ほどの活動だったが、終えた時は気分も清々しくなった。

第61回 全商情報処理検定合格者

時 9月22日

2級	矢野龍生(31出)
3級	河上哲也(31出)
	田原友香(31出)
	杉谷 新(21斐)
	高橋正伍(21大)
	藤原大和(21大)
	中山茉央(21大)
	山口竜馬(31出)
	相見周作(21出)
	角田翔大(21斐)
	深田智広(21斐)
	山根幸輝(21湖)
	山根七海(21平)

中学校

出雲市中学校新人戦

女子バスケットボール部

時 10月8・9日
於 斐川西中学校体育館
本校体育館

〈予選リーグ〉
一試合目 本校 68-36 向陽
二試合目 本校 42-78 出雲一
予選リーグ 2位(1勝1敗)
〈代表決定戦〉

結果4位(出雲地区大会出場決定)
当日は保護者の方々をはじめ、多くの皆様から応援いただき有難うございました。

(顧問 篠原勝利)

男子バスケットボール部

時 10月8・9日
於 斐川西中学校体育館
本校体育館

〈予選リーグ〉
一試合目 本校 66-37 平田
二試合目 本校 53-74 出雲二
予選リーグ 2位(1勝1敗)

〈順位決定戦〉

一試合目 本校 61-57 出雲三
二試合目 本校 34-47 湖陵
結果4位

人数が少ないながら、一生懸命戦うことができた。ご声援有難うございました。
(顧問 多々納厚比古)

卓球部

時 10月8・9日
於 斐川第一体育館

男子団体・個人ともに優勝!

〈男子団体〉優勝(6年連続8回目)
〈男子個人〉

優勝 小野泰和(中1鏡)
2位 佐藤卓斗(中2湖)
3位 森口 諒(中1斐)
ベスト8 田中悠斗(中1影)
2回戦敗退 古瀬亮太(中2湖)
○大会総評

団体、個人ともに出雲地区大会への出場権を獲得することができた。一年生の活躍が光った大会であった。

(顧問 相場翔太)

自転車マナーアップ指導とあいさつ運動

時 10月18日
於 本校



本年度も生徒会執行部を中心に、外部から出雲警察署交通安全課並びに生活安全課、かわと交番、北部ヤングサポート川跡コミュニティセンターの皆さんにご来校いただき、自転車運転のマナーアップのための声かけやあいさつ運動の啓発活動を行なった。
高校は今年度、自転車マナーアップ指定校であるため、この日は高校でもマナーアップ指導、あいさつ運動が実施された。
その後、中・高それぞれ自転車の点検が実施され、285台中、無施錠自転車がわずか9台と優秀な施錠状況であったことが報告された。

国際交流ひろばワークショップ

10月23日、第23回国際交流ひろばワークショップを開催した。今年は、韓国・中国・アメリカ・フィリピン・ブラジルの講師の方々をお迎えし、各学年に分かれて活動した。まずそれぞれの国について事前学習したことを発表し、その後、講師の先生方から講評と説明をいただいた。また、3年生はアメリカや中国の料理を作り、両国の食文化を直に感じた。終わりの発表では、それぞれの班が活動の中で学んだことを全体の場で報告し、皆で共有した。生徒たちは、異文化学習を通じて他国への関心や意欲を高めることができ、とても良い学びの場となった。



ワークショップ(フィリピン)



事前学習発表(韓国)



各班からの発表(中国)

作品と研究

——高校三年国語表現の授業から——
**未来の私から、
 現在の私へアドバイス**
 よりよい未来となるように

I・Sへ
 三年後に就職することになります。今からしっかりとできるようにしておいて欲しいことがあります。

あなたは、めでたく看護師になりますが、周りのことがよく見え、感じ取り、考え行動できるようになっていてください。体調が悪い患者さんを相手とする職業です。いつ何が起るか、容態が急変するかわかりません。しっかりと周りを見て、もしもということを考えながら行動できる人になって欲しいです。

また、周囲の人を勇気づけ、元気づけられる人になっていてください。高校生の今のあなたは、自分が担当した患者さんには心の面においても元氣になつてもらえるような看護師になりたいと考えていますね。看護士は医師ではないので患者さんの病気を直接治療することはできません。しかし、患者さんの話を笑顔で聞いたり、声掛けをすることによって心のケアはできます。高校生の今のうちから、少しでも意識して人と話すときは笑顔で話したり、友達に声を

かけていつて欲しいです。

仕事をするようになるともったくさん身につけなければならぬことがあります。先ずこのことを心がけ、立派な看護師を目指して、勉学に励んでください。

T・Nへ
 あなたは三年後、努力の末、就職試験をクリアし、めでたくある子ども園に就職できます。勿論、努力を怠れば未来は変わってしまいます。そうならないことを祈りつつ、次の話を聞いてください。

保育士という仕事は楽しいことだけでなく、どの職業にもある、大変な壁を乗り越えなければならぬときが何度も来ます。このことはあなたもすでに分かっていることでしょう。あなたが目標にしている「周りから信頼される先生・周りの人を笑顔にできる先生」になるために今から学んでおいて欲しいことがあります。

保育士になると、子供たちにいろいろなことを教える立場になります。自分自身が子供たちの前で見本になつていなければなりません。保育士としての専門的な知識技術は勿論ですが、子供たちの前に立つ大人として、自分を磨き続けてください。これは保育士という仕事で、子供たちだけではなく同僚や保護者の方にも信頼されなければできない職業だからです。

らです。

今から意識して取り組み、自分のペースで焦らず頑張っていきたいという。仕事を始めると大変なことばかりですが、着実に経験を重ねていくことにより目指す保育士に近づけることでしょう。

N・Tへ
 あなたは（自分のことでもありますが）、嫌いなことを後回しにする癖がありますね。嫌いなことを後回しにして、結局最後まで後回しにしながらやっていない。その結果、自分が痛い目にあつたり、関係者に迷惑をかけたることが多くありました。これを後2年以内に改善しなければなりません。

どうやったら嫌なこと、ほつたらかしにせず、自らの手で取り組み、期限までに完了しているか。そのためには、まず、物事の優先順位を考えることが重要です。自分に課せられた課題、受け持ったこと、やらなければならぬことなどにたいして、重要度、必要な時間、期限などを考慮し優先順位を付けたり、仕事や作業の強弱を考えて取り組むといいと思います。また、自分では請け負いき

れない依頼は断る勇氣も必要です。

相手はあなたに期待して持ちかけてくれていますからありがたい話ですが、相手の期待に応えられるか、自分に完了する見通しが持てるか、よくよく先のことまで考えて返事をしましょう。どうしてもという相手の強い希望があつても、相手とよくよく相談して決めてください。

これから先も、まだまだ学ぶべきこと、身につけなければならぬことがたくさんあります。これからさらに世の中を見る視野が広くなると、あれも、これもと気づくことがありますが、自分自身と向き合い、重要なことや、時間のかかることから取り組んでいてください。

今月の
1枚

「眼光」

令和元年度秋季写真コンクール 特選作品

山根 七海 (21歳)

